

「ベトナムIT若手起業家とのDXを考えるオンライン交流会」



- ベトナム側参加 IT 3社
1. [2NF] CEO Mr. Nguyen Nhu Hanh (ハイン氏)
 2. [NAL]創始者、[NIX Education]CEO Mr. Nguyen Trong Nghia (ニア氏)
 3. [BEETSOFT] CEO Mr. Nguyen Huu Linh (リン氏)

ベトナム(2022)：人口9,900万人(国連),首都ハノイ、社会主義共和国、GDP約60兆円(世界39位) → 20位(2050)IMF

主催 ESD21、共催 名城大学、助成 トヨタ財団
2022年10月20日(木) 15:00~17:00 (日本時間)



開会挨拶

xin chào !

ESD21顧問・理事

鈴木 明夫



一般社団法人

持続可能なモノづくり・人づくり支援協会（略称ESD21）

Association for Support of Economic Sustainable Development for 21st Century

ESD21の新しい風を、企業に、地域に、そして国の未来へ

企業ESD21のミッション：TPS(トヨタ生産方式) + ICT (情報通信) とのシナジーで企業競争力向上支援 = DX (Digital Transformation)

オープンフォーラム・セミナー開催、DX人材育成やDX関連ビジネス支援及び交流の場の提供

データ駆動

DDUA: データ駆動ユニケーシアーキテクチャの提案

「ユニケーシ」は状況への即応性に優れ変化の早い環境でチャンスを逃さない開発手法。

- 「人工知能学会 知識流通ネットワーク研究会」にて論文発表（'22年9月16日）
- 山本修一郎名古屋国際工科大学専門職大学教授（名古屋大学名誉教授）
- USP研究所 ・ESD21
- IPA独立行政法人情報処理推進機構 社会基盤センター「DX IT フォーラム」にて山本教授基調講演（'22年10月5日）

①TPS/Lean事業

（品質の向上、生産性の向上、納期の短縮）

②DX

関連事業
（デジタル化を活用した提供価値の変革）

③国際事業

（最新情報交換会開催や研修支援）

業務改善

- 価値を生まないことや機能しないことはやめる
- デジタル化の前に業務を簡潔化
- 全体最適視点で業務を再構成

’22年度はベトナムとモンゴルを重点に活動

DOI（変化） MOI（新しい） 変貌ベトナム

まさに今のDX



なぜ、いま、ベトナムか？

日本の「新しい隣人」として大切な存在！
あと20年あまりで先進国入りする！

ここまで来たベトナムのEV、
アメリカに進出

ベトナムの複合企業最大手

写真：JETRO地域・分析レポート（22/3/25）



私の最初のベトナム訪問はドイモイ発令（1986年）前にホーチミンへ

ベトナムの最初の印象

戦争による痛手と長年にわたる困難な時代を乗り越え、全国民が新しい国造りに向かって、活力に満ちた力を感じ、また、日中暑い中で木陰で古い日本語の本を読み向上心が高く勤勉であると感じました。それと女性のアオザイでの振る舞いや親日的で食事も日本人の口に合い共通の文化や歴史もあり親しみやすさを覚えました。それゆえ私自身も何とか国の発展に貢献したいと感じました。

最初の疑問：
なぜこれほどの人達が
日中往来するのか？



ITビジネス
のきっかけ

電話普及率が1%以下であるため
書類や伝言配達のマッセンジャー
“飛脚”であることが分かりました



商社マンの感覚で通信ビジネスだ！
電話局に飛び込み固定電話デジタル
交換機の設置を打診し、その後の
交渉で5年間での延払いで成約した。
同時にコメ輸出ビジネスで必要な
メコンデルタ地帯に携帯電話を提案。

私のハノイで仕事

ベトナム拠店づくりと自動車ビジネス
開拓

1990年から自動車販売事業と自動車製造事業の市場調査であった。

最初の宿”迎賓館”
1911年建築完成
(フランス植民地時代)

最初のハノイ
歓迎はトカゲ酒
”タッケ”の
洗礼であった。



1990年



ベトナムトヨタ
1995年設立、
1996年生産開始



2013年9月
ESD21視察団



日本でのDXの遅れを取り戻すには！

DXの方向性や技術の導入・開発推進、事業への展開をけん引できる**経営**と**事業**、**技術**の3つに精通したリーダーシップを発揮できる「やたがらす人材」人材が必要です。



八咫鳥に導かれる神武天皇
(日本国の創始者・初代天皇)



熊野神社

やたがらす人材
(八咫鳥)

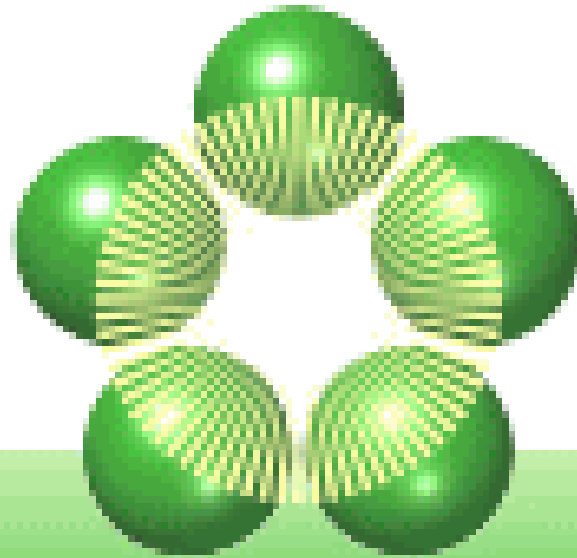
経営
事業
技術

ベトナムはIT先進国同様に政府主導で学校全体をデジタル化し教育に力を入れた結果、2020年の時点でベトナム国内には40万人のIT技術者が存在しており、ICT関連売上は1,123億5,000万USドル（2019年）約16兆円にもなっています。

（Vietnam IT Market Report2020より）

AIやビッグデータ、ブロックチェーンなどの技術者も増えており、ベトナムは、単にコスト削減のためのオフショアの委託先ではなくなってきているのです

日本のDXを加速させるためにIT人材大国
ベトナムとのコラボの成功を期待します



ESD21